

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 |      |  |                                   |   |            |
|----------|------|--|-----------------------------------|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標                                | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 34   | <急変や事故発生時の備え><br>急変時や事故発生時の対応について、まだ不安がある。                                   | 全スタッフが迅速に対応できるようにする。              | ①救急時の対応の整備。<br>②危険予想訓練を実施し、事故を早期発見する力をつけていく。                          | 12ヶ月       |
| 2        | 35   | <災害対策><br>併設の施設と合同で消防訓練は出来ているが、地域に住む方々を交えた訓練が出来ていない。                         | 地域に住む方々が消防訓練に参加もしくは見学してもらう。       | ①災害に対する勉強会の実施。<br>②地域に住む方々へ消防訓練について声をかけていく。<br>③災害時の備蓄品の確認を定期的に行っていく。 | 12ヶ月       |
| 3        | 33   | <重度化や終末期に向けた方針の共有と支援><br>ターミナルケアについての知識が充分といえない。                             | 全スタッフがターミナルケアについての正しい知識を持つことが出来る。 | ①ターミナルケアについての勉強会の実施。  | 12ヶ月       |
| 4        | 40   | <食事を楽しむことのできる支援><br>週に1回のペースで食事作りを行っているが、献立づくり等の際、スタッフ主導となってしまう、入居者本位とはいえない。 | 入居者が食べたい物や望む食事を提供する事が出来る。         | ①利用者との会話の中で食べたい物等を聞き出す。<br>②季節のメニューを取り入れた献立を入居者と一緒に作成する。              | 12ヶ月       |
| 5        |      |  |                                   |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。